

「神の愛」が現れた

ヨハネ3：16～21



O・ヘンリー著 「賢者の贈り物」

「犠牲」は、自分の一番大切なものを与えること。その動機は「愛」。
払われた犠牲の大きさと、愛の深さが分かる。

神は実にそのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が
ひとりとして滅びることがなく、永遠のいのちを持つためである。 ヨハネ3：16

3つの事実

- 1、神はひとり子イエスキリストを与えるほど、世を愛された。
- 2、それは、御子イエスキリストを信じる者が一人も滅びないため
- 3、わたしたちが永遠のいのちを持つため

①「世」というのは何を指しているのか

人を責める・赦せない・絶対的な平安というものがない「私」

②「世を愛された」とは、具体的にどのように示されたのか。

神の愛は御子キリストを私たちに与えるほどの愛

それは、イエスキリストの十字架によって示された。

しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、
神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。 ローマ5：18

神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。
ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、
私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

Iヨハネ4：9、10

③永遠のいのちはどのように与えられたのか

私たちが自分では払いきれない「罪の負債」をイエスさまが
代わりに負って、十字架で裁かれた。

神の元へ立ち返らせた聖書の言葉

わたしは悪人が死ぬのを喜ばない。むしろ悪人がその道から立ち帰って生きることを喜ぶ。
立ち帰れ、立ち帰れ、お前たちの悪しき道から。イスラエルの家よ。どうしてお前たちは
死んでよいだろうか。 エゼキエル33：11（新共同訳）

「闇」は暗くて光が差さない場所 → 社会・自分自身

光（イエスキリスト）は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。ヨハネ1：5

イエス・キリストは私たちを「闇」から引き出し「光」に迎え入れ
「永遠のいのち」を与えるために、この地に人としてお生まれになった。